

51 宮崎県 都城市

有限会社 徳重紅梅園

とくしげこうばいえん
法人番号 6350002014123

～無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直販～



草生栽培の草刈り。年に6～8回行う



大淀川源流に広がる20年生の梅園

経緯

- 化学肥料、農薬の多用で野草、小川の生き物が消え、加工現場も添加物が氾濫しているのを危惧。
- 昭和37年から有機肥料主体の梅栽培に着手。昭和48年から伝統の無添加加工を守った梅加工と直売を展開。

取組内容

- 旧開拓地を開墾した梅園5haは、刈取った草や椿の油粕などを3年間発酵させた自家製堆肥で無農薬栽培。
- 梅干は自家栽培のシと天然塩で3年間熟成、梅エキスを土鍋を使用し時間をかけ濃縮するなど伝承を守り加工。

活動の成果

- マスコミ報道もあり、全国に顧客を確保（平成26年受注件数4700件）。鹿児島の特産グループへ栽培法を普及。
- 梅園の大部分4haは、大淀川源流の集落にあり、過疎化対策と景観と自然保護に貢献。周辺にも植林が普及。

今後の方針

- 子供の健康を心配する若い顧客は経済的に余裕がないため、商品の原価を少しでも安く出来るように努力。
- 水源地周辺の環境を守り、現在の野草や虫の保護復活を兼ねて、共存共栄の農業活動を続ける。

有限会社 徳重紅梅園

宮崎県都城市平塚町9825番地 Tel : 0986-22-6325 Fax :0986-22-2809

52 宮崎県 小林市

きた い な か も の が た り 北きりしま田舎物語推進協議会

～はじめまして！の後は、もう家族。～



牛の世話の体験



消防署救急救命士による講習会

経緯

- 当協議会は小林市・えびの市・高原町の個人・団体が連携を強め、体験型観光を推進するため平成18年に設立。
- 地域資源を活かし、ありのままの暮らしを伝える農家民泊に着目し、農村に人を呼び込み田舎の良さを発信。

取組内容

- 農家民泊による教育旅行受入を中心に展開。生徒さんと受入農家との過ごす時間を大切に家業体験を提供。
- 受入農家は浴室や食品の衛生講習、救命講習、リスクマネジメント講習を毎年受講するなど安心・安全な受入を徹底。

活動の成果

- 農家民泊をととして子ども達に【生きる力】【生き抜く力】の気付きに繋がる効果があると確信。
- 活動を通して、交流人口の拡大、受入農家の所得向上、地域における経済波及効果も期待。

今後の方針

- 年間通して受け入れできる体制づくりを確立するため、研修講習会などでスキルアップと資質向上に努める。
- インバウンドの受入れ体制をつくり、農家の所得向上等の経済効果と、心育み、喜びなどの精神的効果の推進を図る。

北きりしま田舎物語推進協議会

宮崎県小林市堤108番地1 Tel : 0984-22-3020 Fax :0984-22-3020

53 宮崎県 日向市

しょうでかじきちく

庄手梶木地区農地水環境部会

～ワクワク体験隊～



ワクワク田植え体験隊



ワクワク水生生物調査

経緯

- 平成17年より、地元有志が委員会を立ち上げ、将来の営農活動の話し合いを開始。19年に営農組合を設立。
- 農地・水・環境向上対策に取り組むため、営農組合の下部組織として当部会を設立。構成員は非農家含む94名。

取組内容

- 子供達の環境保全の学習や食育に取り組むため、NPO法人と連携し、田植、収穫、生き物調査の体験活動を実施。
- 参加者募集はNPO法人が担当。各体験終了後、おにぎりなどを参加者に提供。開催時は必ずメディアへ連絡。

活動の成果

- 環境保全意識が高まり、川的环境も良くなり、蛍が見られる。どこの子供か分かるなど世代間交流が深まった。
- 地域内では、今までになかった集落内での絆も生まれ、区と営農組合で地域を支える体制が出来上がった。

今後の方針

- 活動の紹介依頼等への対応、ブログでの紹介、メディアへの対応など今後とも積極的に活動の発信を行う。
- 地域内の女性の雇用により地域にお金が落ちる仕組みを作りたい。野菜栽培や観光農園も視野に入れている。

庄手梶木地区農地水環境部会 事務局

宮崎県日向市大字日知屋13070-1 Tel: 0982-52-8585 Fax: —

54 宮崎県 串間市

かさぎちく

笠祇地区

～笠祇の元気な里づくり～



焼肉フェスティバルの風景



てべすおどりを発表会で披露する子ども達

経緯

- 世帯数49戸の中山間地域の自治会。平成4年から焼き肉フェスティバルを毎年開催し、地区外との交流を推進。
- これをきっかけに地区民が一体となり、農業体験や伝統芸能継承を併せて行うようになり。現在でも継続。

取組内容

- 焼き肉フェスティバルは、主産業の畜産と、笠祇岳山頂からの景観を活かし、大パノラマを眺めながら宮崎牛を堪能。
- 地元小学生(7名)にもち米の田植え、稲刈り、餅つき等の体験や、地元にくから伝わる「てべすおどり」を継承。

活動の成果

- 焼き肉フェスティバルは、毎年多くの参加者(120名)があり年々参加者が広がり「和牛の里笠祇」のイメージが定着。
- 農業体験や文化芸能継承において、地区の農業や伝統を守ると同時に、将来の地区の担い手として期待。

今後の方針

- 高齢化による地区民の減少は避けられず、生徒数も少なくなっていることから活動の継続が難しい現状。
- 今後は笠祇の魅力や資源を活用した地域づくりはもとより、笠祇のすばらしさを次の世代に伝える方法を模索。

笠祇地区

宮崎県串間市大字奴久見897 Tel: 0987-72-4011 Fax: 0987-72-6727

55 宮崎県 綾町

あやちようにしきばるだいちいき

綾町錦原台地地域づくり推進協議会

～農商工連携ラボを拠点とした都市農村交流～



農商工連携ラボ



綾どれギフトショップ

経緯

- 個人客を楽しませる拠点づくりのため、平成23年に農業生産者と商工業者が一体となった農商工連携ラボを設置。
- ラボ(店)では商品開発や販売とともに、観光客の誘致を図り、都市農村交流による観光客導入の拡大を推進。

取組内容

- 地域の生産物(12社、307アイテム)を集めて展示販売を開始。また、商品開発の講習会や相談会を実施。
- 農商工連携ラボと消費者をつなぐパイヤー(食品関係、旅行業者、シェフ、ジャーナリスト等)のモニターツアーを2年間で2回実施。

活動の成果

- 地域の素材を活かした手づくり本物の装飾グッズや嗜好品、加工食品等が店に集まり評判を呼ぶ様になった。
- この拠点を活用して頻繁に催事ができる様になった(スローフードまつり・フリーマーケット・食農体験等)。

今後の方針

- 田園風景の中に個性的な商店・工房・飲食などが散在しながら優雅に自然と融合した町を目指す。
- 生活環境と産業が混然と融合でき、厳しい環境規制が守られ、自然と共生した経済活動ができる町を目指す。

綾町錦原台地地域づくり推進協議会

宮崎県東諸県郡綾町大字北俣3455-3 Tel : 0985-77-0909 Fax : 0985-77-1108

56 宮崎県 高鍋町

しきさい

四季彩のむら

～昭和30年代の風景が残る、彩りあふれる里山～



草刈り鎌で稲刈り



田植え体験を通じた婚活イベント

経緯

- 当町では、平成13年度より四季を感じることができる「昭和30年代の農村風景」の再現を支援する事業を実施。
- 当団体はこの事業に取組む農業者12名で構成。季節の作物の栽培、他団体と連携した多彩な交流活動を展開。

取組内容

- 石積棚田を含む6.2haの農地に、普通期水稻やレンゲ、ソバなど四季の彩り豊かな作物を栽培、畦に彼岸花等植付。
- 親子での田植・稲刈り体験、田植体験を通じた婚活イベント、田んぼアート、遊歩道利用のリレーマラソンなどを実施。

活動の成果

- 地域住民や来訪者に年間を通じ美しい景観、環境学習の場を提供。田植・稲刈りは、県内各地の参加者で賑わう。
- 多彩なイベントにより、多くの来訪者を呼び込むことで、地域内の交流施設等の利用者の増加などの相乗効果。

今後の方針

- 沿道の修景作業を継続して行い、コンセプトである「昭和30年代の農村風景」を現在に残すことに力を入れていく。
- 交流施設等も含め、来訪者を増加させるため、魅力あるイベントを行って県内外を問わず賑わえる場を提供する。

高鍋町産業振興課

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地 Tel : 0983-26-2021 Fax : 0983-23-6303

57 宮崎県 高鍋町

そめがおか ち く 染ヶ岡地区環境保全協議会

～きゃべつ畑のひまわり祭り～



きゃべつ畑のひまわり風景



ひまわり畑のメインストリートを歩く来場者

経緯

- 九州有数のきゃべつ、白菜の産地。農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成21年に当協議会を設立。
- 口蹄疫で利用できなくなった家畜堆肥に代わる緑肥として、落ち込んだ町民を元気づけるため、ひまわりを栽培。

活動の成果

- ひまわりは景観だけではなく畑の土づくりに効果。栽培面積の拡大など地域一体で取組むイベントに成長。
- マスコミにも取り上げられ、全国から来場者が訪れ、口蹄疫からの復興・再生の象徴的存在となっている。

取組内容

- 栽培面積は、取組開始の平成22年の38haから植栽農家が年々増加し、26年には80ha(1100万本)に大幅に拡大。
- 数か所の花見台設置やひまわり迷路づくり、見頃の8月中旬のひまわり祭り(来場者1.5万人)、婚活イベントを実施。

今後の方針

- 近年、ロールキャベツやキャベツの粉使用のロールケーキ等販売。ひまわり祭りを通してこれら農商工連携を確立したい。
- 『ひまわりキャベツ』が販売される等、ブランド化に取り組んでいるため、情報発信に更に力を入れていきたい。

高鍋町産業振興課

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地 Tel : 0983-26-2021 Fax : -

58 宮崎県 西米良村

にしめら 西米良うめえもん研究会

～中学生が村をひっぱる！村一丸となった特産品開発～



パッケージ試作品



中学生が提案したピクルス試食の様子

経緯

- 当村の加工業の販売促進の停滞やデザイン業務の人材不足を補うため、中学校のキャリア教育の活用を計画。
- 当研究会が双方の課題や目的を解決するため、加工販売者と中学校をコーディネートする取組みを行った。

活動の成果

- 高菜炒めのパッケージは話題性等もあり売上げは2倍に上り、加工グループのモチベーション向上に繋がった。
- マスコミにも取り上げられ認知度が高まり、村内でも一緒に取り組む団体が増え、新商品開発の着手に繋がった。

取組内容

- 1年生は「西米良いいところマップ」、2年生は商品開発の企画書を作成、3年生は実際の商品の販売促進を担当。
- 生産加工グループは提案を受け、大根等のピクルスを試作、3年生デザインの高菜炒めのパッケージを実際に採用。

今後の方針

- プロジェクトの今後の挑戦として、中学生が企画、デザインした商品を店頭販売し自分の故郷の良さを知ってもらう。
- 企画と実際の販売とのギャップや消費者の意見を聞きビジネスマインドを中学生に養ってもらいたい。

西米良うめえもん研究会

宮崎県児湯郡西米良村大字村所15 Tel : 0983-36-1111 Fax : 0983-36-1207

59 宮崎県 高千穂町

農業生産法人 おたに家 株式会社

法人番号 4350001007501

～諦めの悪い棚田を实践する日本のふるさと～



汎用コンバインによるソバ収穫



福岡マルシェへの出店

経緯

- 高千穂町は少子高齢化の進む過疎地域であり、近い将来美しい棚田が原野化するという危機感を抱いた。
- 雇用の維持や耕作放棄地の受け皿対策のため平成20年に農業生産法人「おたに家株式会社」を設立。

取組内容

- 雇用創出の各種補助事業を活用して若者を雇用。耕作放棄地7.7haを再生し、米、ソバ、大豆、ハトムギ等を生産。
- 生産した農産物使用による加工品(おかず味噌、旨塩、倍煎茶等)づくりと物産展等への出店による販路開拓。

活動の成果

- 雇用創出の事業活用は、意識の高い人材確保と行政から多くの情報が得られ、商品開発と売上げ拡大に貢献。
- 県内外の物産展等への出店で、同業種のメーカーや商社とのマッチングが成立し、安定した原料供給の取引ができた。

今後の方針

- 経営所得安定対策に積極的に取り組み、ソバ、ハトムギ、トウモロコシの産地化を目指したい。
- 露地生産の不安定性から脱却するため、農産物の工場生産化に組み込み、安定した農業経営の確立を目指す。

農業生産法人 おたに家 株式会社
宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井5138-1 Tel : 0982-73-2228 Fax : 0982-76-1248

60 宮崎県 高千穂町

高千穂ムラたび協議会

～動き出した 未来のムラづくり～



資源活用の主力商品に育った「あまざけ」

民宿「まろうどん」料理と接遇の評価でファンを獲得



経緯

- 当地区は戸数39戸の山間集落。地域の宝を磨き、交流によるムラおこしのため、平成22年に当協議会を設立。
- 若者やイターン者を積極的に受入ながら、「農業・6次産業化」「食と農家民宿」「エコミュージアム」の活動を展開。

取組内容

- 無人直売所で農産物、手づくり工芸品など販売。若者4人が中心となって「どぶろく」や「あまざけ」等を製造販売。
- 農家民宿や古民家食堂で郷土料理や創作料理を提供。空き家等を展示場に改装し、神楽等地域文化を紹介。

活動の成果

- 社会基盤を失いかけていた山間地でのムラづくりの刷新、若者の参入・定着が住民のやる気に繋がっている。
- 若者の人材育成に重点を置いたことで新しい視点を持ち、産業基盤づくり、販売額の増加にも繋がっている。

今後の方針

- 新たなビジネス創出に向け、直売所や農家民宿等の開設、地域文化の展示等により「ムラごとエコミュージアム」が始動。
- 本格的集落ビジネスに繋げるため、より魅力的なグリーンツーリズム等を目指し、新しい視点に立った事業展開を図る。

高千穂ムラたび協議会
宮崎県西臼杵郡高千穂町向山6604 Tel : 0982-72-7226 Fax : 0982-82-2283

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

ご か せ し ぜ ん が っ こ う

法人番号 1350005003383

～日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能な村づくり～

「五ヶ瀬風の子自然学校」の田植え



米を中心に特産品ネットショップ



経緯

- 五ヶ瀬川流域の資源を生かした地域づくりに取組むため、町内の若手を中心に平成17年に当組織を立上げ。
- 交流人口を増やし定住に繋げるため、地域の農林業とエコツーリズム、グリーンツーリズムを組合わせた様々な事業を展開。

取組内容

- 田舎暮らしの良さを子供達に伝えるため、地元小学生による農業・自然体験や季節に応じた子供キャンプを開催。
- 地元農家と連携して特別栽培米や佃煮、お茶、漬物等の特産品をネットショップにより直接消費者に販売。

活動の成果

- 放課後に年間250日開催の農業・自然体験は地元小学生が毎年全員参加。キャンプも年間延べ600名が参加。
- ブランド米の販売は年間9t程度で安定。U・ターンで農家の後継者確保や耕作する若者が定住するなどの効果。

今後の方針

- 新たな活動として、大学や企業の研修を受け入れる「五ヶ瀬コミュニティ体験大学」や農業ボランティア受入等を行う。
- 農村集落の景観を活かした「フォレストビュアットパス@五ヶ瀬」等を集落とともに展開し、五ヶ瀬町の過疎化を止める。

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校
宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452乙 Tel : 0982-73-6366 Fax : 0982-73-6366